

住人十色

第 126 回

希望の道を照らす聖火ランナー
感謝を胸にトーチをつなぎたい

和氣 康一さん(40) 内子1
伊達まりゑさん(16) 上宿間



◎会うのはこの日が初めてという2人。互いの聖火リレーへの思いを聞き、笑顔で走り切ろうと誓い合った

東京2020オリンピックの聖火ランナーが発表され、内子町内から和氣康一さんと伊達まりゑさんが選出されました。「チャンスをもたらえてうれしい」と話すのは和氣さん。本町商店街や商工会青年部で活動し、地域の活性化に貢献しています。「買い物やイベントで商店街に足を運んでくれる人々に感謝を伝えられる最高の機会。一緒に活動する仲間の代表として走りたい」と心境を口にします。新聞に掲載された反響の大きさに「期待と責任を感じるけれど、自分も楽しんでやりとげたい」と笑顔を見せました。

小田高校2年生の伊達さんは「父の勧めで興味を持った。二度とない機会だし、私が走ることで家族が喜んでくれる」とにっこり。同校の分校化にも触れ、「小田高校を盛り上げようと、頑張る先生たちの姿が思い浮かぶ。私も大好きな学校のために何かしたいと思うようになった。短い距離だけど一歩一歩しっかりと踏みしめて、みんなに感謝の気持ちを伝えたい」と目を輝かせます。

聖火リレーは3月26日、福島県からスタートし、内子町には4月23日にまわってきます。最後に2人は「聖火リレーでオリンピックを身近に感じてほしい。一緒に盛り上げましょう」と呼び掛けました。

編集 幸記

▽病氣や家庭の事情で第一志望の学校に行けなかった高畑さんですが、自分の選んだ道で着実に成果を上げる姿に感銘を受けました。長い人生の中で、受験は一つの過程。大切なのは、そこからどうするかですね(裕)▽成人式で意見発表をした皆さんは、夢や目標があつて頼もしいです。新成人が生まれた99年度とえば、ノストラダムスの予言で世紀末ブームが起きました。あれから20年。人類滅亡を免れ、無事に三十路を迎えられそうです(航)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

